

Housing Market News

2019 vol.8

7|19 ▶ 8|22

東京ガス株式会社
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の
トピック解説

TOPIC

住宅レジリエンス機能に“水”じわり広がる

相次ぐ大規模自然災害の発生で注目される住宅のレジリエンス機能。この中で“水”を意識した商品提案がじわり広がっている。今年4月、パナソニック ホームズが商品投入したのに続き、積水化学工業 住宅カンパニーも災害時の断水などを想定した商品を出した。電気の次は“水”——レジリエンス機能が広がりを見せている。

同社住宅カンパニーは、飲料水貯留システムを導入した住宅の提案を始めた。水道管の一部として同システムを設置。断水になると貯留タンクにある水を足踏みポンプで操作し、キッチンや洗面台の水栓から水を出ることができる。1つのシステムで24ℓの飲料水の確保が可能だ。

貯留タンクの高さは30cm以下。建物の基礎内の床下スペースに設置するため居住スペースが損なわれない。貯留水は日常の給水で入れ替わるため衛生さが保たれるという。材料は腐食の心配がない高性能ポリエチレン樹脂製。「飲料水貯留システム」は同社環境LLカンパニーの製品を使う。

同社がもう1つ“水”でこだわったのは豪雨や大型台風での浸水リスクだ。これまでメンテナンスの作業性などの点から1階に設置していた「スマートハイム TB」シリーズの蓄電池のパワコン。これを2階バルコニー面への設置も可能にした。昨年大きな被害をもたらした西日本豪雨では、「2階の床近くまで浸水し、せっかく採用した蓄電池とパワコンが壊れて、復旧するまで時間がかかった」（同社）という。蓄電システムとあわせて家財や貴重品を2階に設置・保管することで、1階が浸水した場合でも被害を抑え、災害後早期の生活再建をサポートすることとした。

パナソニック ホームズが4月に打ち出した「防災持続力を備える家」で、新たな設備として提案したのも「貯水タンク」だ。約43ℓを確保する。これも水道管の一部

として設置する。トイレなどの生活用水は、エコキュートの約360ℓ、エネファームの約130ℓを活用することもできるという。

戸建住宅以上に水問題が深刻なのがマンションだ。通常、マンションは停電す

ると給水ポンプも止まってしまうため断水する。大京が竣工した「ライオンズ芦屋グランフォート」（兵庫県芦屋市）は、共用部だけでなく専有部にも太陽光発電パネルや蓄電池など停電時でも必要な機能を補完しあう創蓄連携エネルギーシステムを導入。これにより停電時でも給水ポンプは稼働し、各住戸に水が供給できる。受水槽は40トン。「使用時間を、昼の1時間など限定しながら使えば、1週間ぐらいは持つ」と同社。共用部では、井戸水をくみ上げ、各階散水用や植栽灌水に使う水を供給するが、ここでも電気が使えることで、非常時でも断水を回避できる。

大きな被害をもたらした西日本豪雨から1年を前にした5～6月、（公財）ジョイセフが被災地に住む母親を対象に災害時の振り返りとしたアンケートによると、この豪雨で水の確保を困ったこととして挙げた人は4人に1人いた。一方で、農水省が行ったアンケートでは、飲料水備蓄について「十分できている」と答えた人はわずか4%。災害が起きると、多くの人は水の確保に困るという実態がある反面、こうしたことを想定した事前の策を打つ人が少ないことが、これらのアンケート結果からうかがえる。こうした消費者の意識を背景に、住宅のレジリエンス機能として“水”に注目が集まっている。



積水化学工業 住宅カンパニーが導入した貯留タンクの設置イメージ

NEWS

今月の主なニュース

7|19

8|22

- ▶ ノーリツ 無線LAN対応給湯器リモコンをスマートスピーカーに対応
- ▶ ミサワホーム ドリッブルーバーをIoT化 気象情報と連動で打ち水効果
- ▶ 大建工業 業界初の突き付け施工仕様のキッチンパネルを発売 目地のコーキングなど不要に
- ▶ YKK AP 業界トップクラスの耐風圧性、水密性を実現したアルミ樹脂複合窓を発売
- ▶ フクビ化学工業 断熱材に遮熱性をプラスしたハイブリッド機能商品を発売
- ▶ 積水化学工業 認知症の早期発見、重症化予防プロジェクトを実施 「話食動眠」で認知機能と生活機能が維持・向上